



令和3年度 大阪しあわせネットワーク 事業報告書

1. 令和3年度の概要

大阪府社会福祉協議会ならびに社会福祉施設経営者部会・各施設種別部会では、昨今の社会経済情勢の変化等により顕在化してきた“制度の狭間”の課題への対応や、改めて問われている社会福祉法人のあり方をめぐる議論に“社会福祉法人の使命”として応えるため、これまで大阪で取り組まれてきた実践をさらに発展し、社会福祉法人の強みを活かしたさまざまな地域貢献事業を「大阪しあわせネットワーク（オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業）」として、平成27年度から推進している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、解雇や倒産による失業や収入減などの生活困窮や孤立といった課題が多様な世代で浮き彫りとなり、令和2年度に引き続き感染予防に努めながら迅速かつ適切な相談支援とネットワークを活かした取り組みを推進してきた。また、今後のあり方の方向性をふまえ、府域の大阪しあわせネットワークと地域貢献委員会などの市区町村域の実践を重層的包括的に推進していくことを目的に、9市町でモデル指定するとともに、基幹的役割を担う人材の養成をすべく、新たにCSWマイスター現任研修を実施した。あわせて、支援や記録の標準化、業務の省力化などをめざして、支援システムのアプリケーションを開発・検討するなど、下記の事業を展開した。

2. 各事業の実績

(1) 総合生活相談事業（生活困窮者レスキュー事業）

失業、介護、障がい、虐待やDVなどにより、今日・明日食べるものがない、電気・ガスが止まってしまった…など制度の狭間の生活困窮に陥った方など、様々な“生活SOS”に対応する総合生活相談事業「生活困窮者レスキュー事業」について、すべての施設種別のコミュニティソーシャルワーカーによる支援を展開している。

令和3年度の相談支援件数は、新規相談1,660件、継続相談1,136件、合計2,796件（社会貢献支援員が支援に関わった事例のみ）で、相談支援事例のうち、「経済的援助（現物給付）」による支援を行ったものは、527件41,515,843円（再支援ケース21件865,639円を含む）であった。

①相談支援件数 ※下記件数は社会貢献支援員の関わった事例のみの集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	155	152	144	149	133	144	143	133	143	141	112	111	1660
継続	84	102	115	87	99	106	112	96	92	73	88	82	1136
計	239	254	259	236	232	250	255	229	235	214	200	193	2796

②「経済的援助（現物給付）」を行った支援件数と金額

月	件数（件）	金額（円）	月	件数（件）	金額（円）
4	54	3,890,071	10	38	2,907,507
5	49	4,162,739	11	38	3,145,988
6	40	3,240,017	12	37	2,966,227
7	43	3,134,298	1	44	3,421,846
8	42	3,416,437	2	38	3,055,767
9	48	3,458,405	3	56	4,716,541
計			527		41,515,843

【参考】令和2年度 556件 44,427,387円

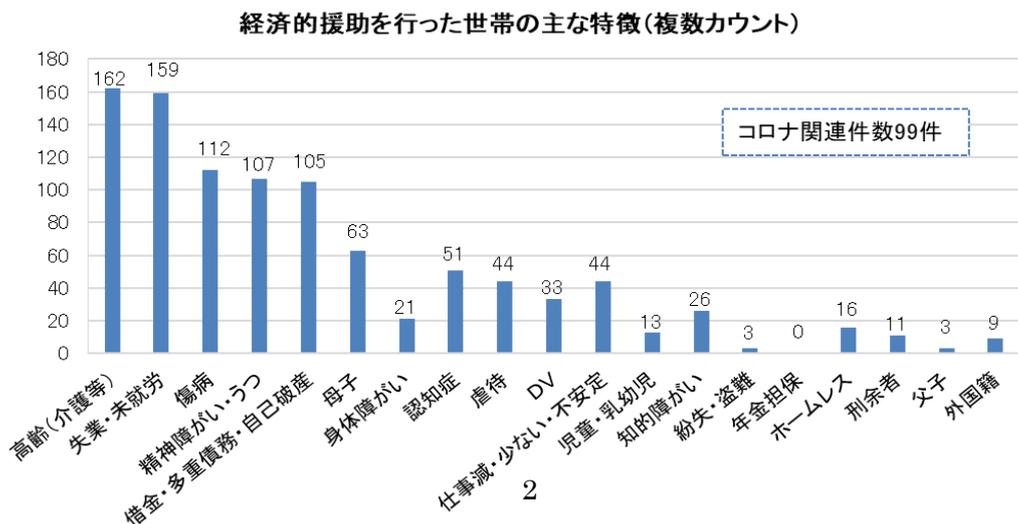
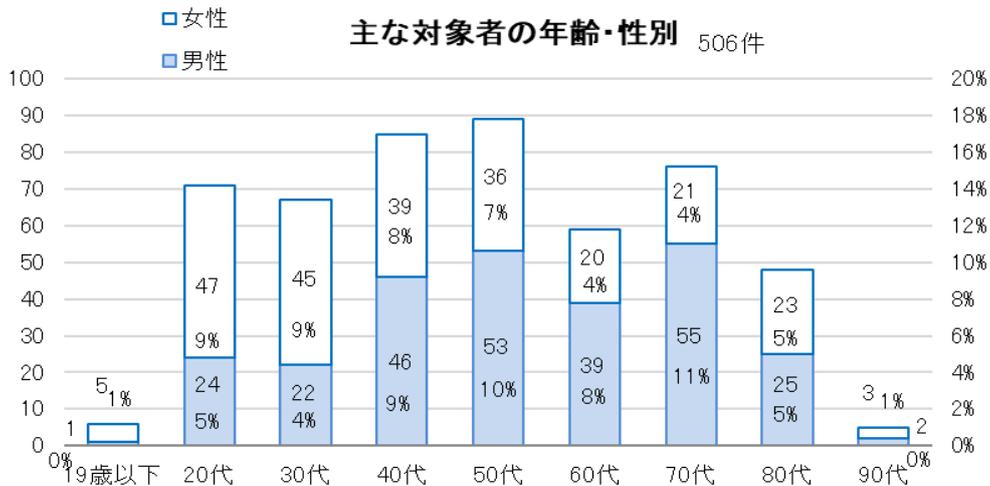
※上記の件数・金額には、再支援ケース21件865,639円を含む

※10万円を超える支援を行った件数は55件。（再支援で10万円を超えた件数含む）

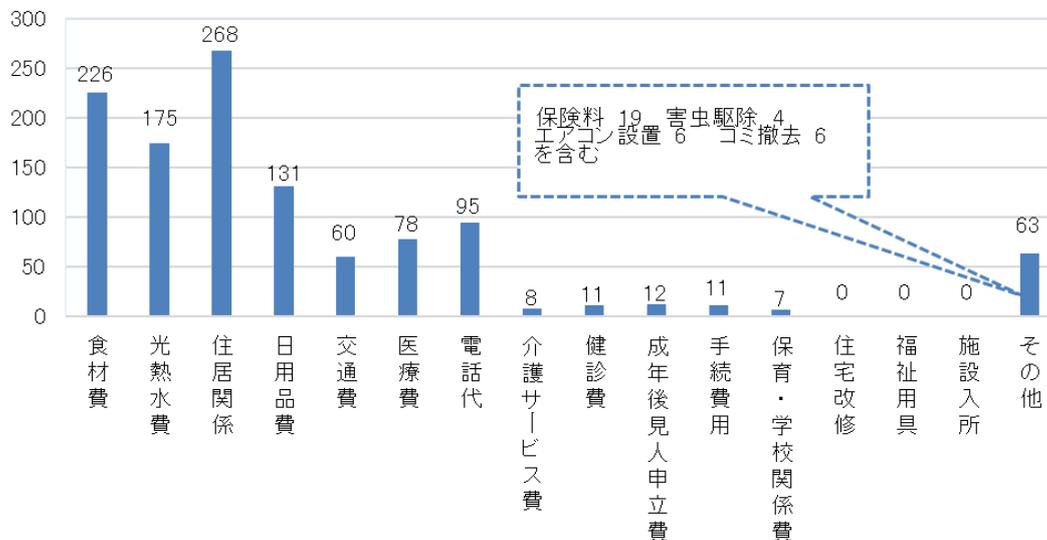
※施設からの残額返金が240件7,157,186円、対象者からの返還が33件584,738円あり、決算における経済的援助金額はこれらを差し引いた33,775,300円となる。

③「経済的援助（現物給付）」を行った相談支援事例の特徴と傾向

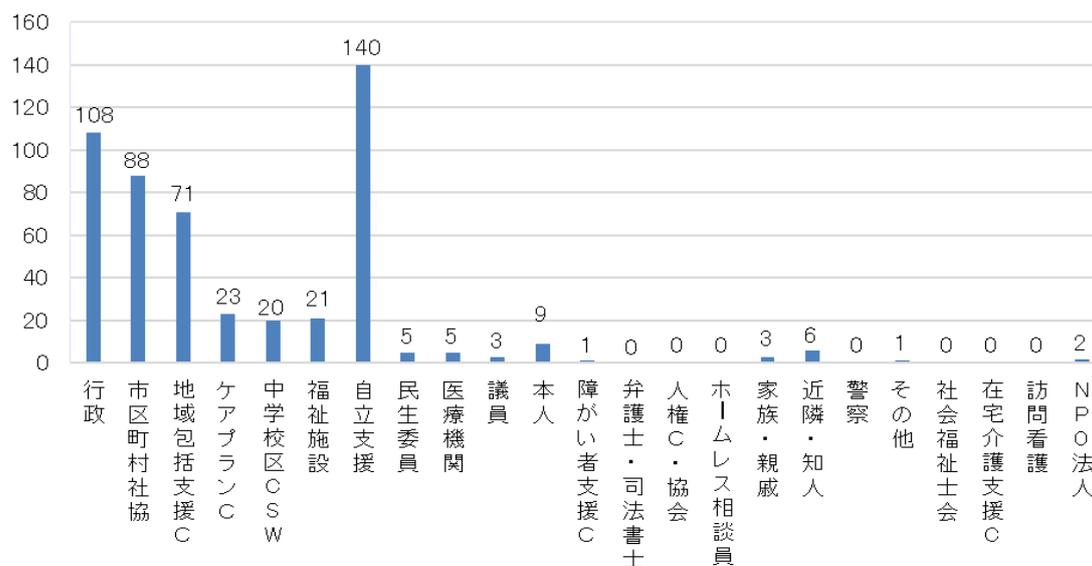
「経済的援助（現物給付）」による支援を行った世帯の主な対象者の年齢は、20～80代と幅広い年齢層となった。世帯の特徴は、「高齢（介護等）（162件）」、「失業・未就労（159件）」の順に多くなり、相談の紹介経路は、「自立支援（140件）」が最も多くなっている。



経済的援助の主な内容(複数カウント)



経済的援助事例の紹介経路



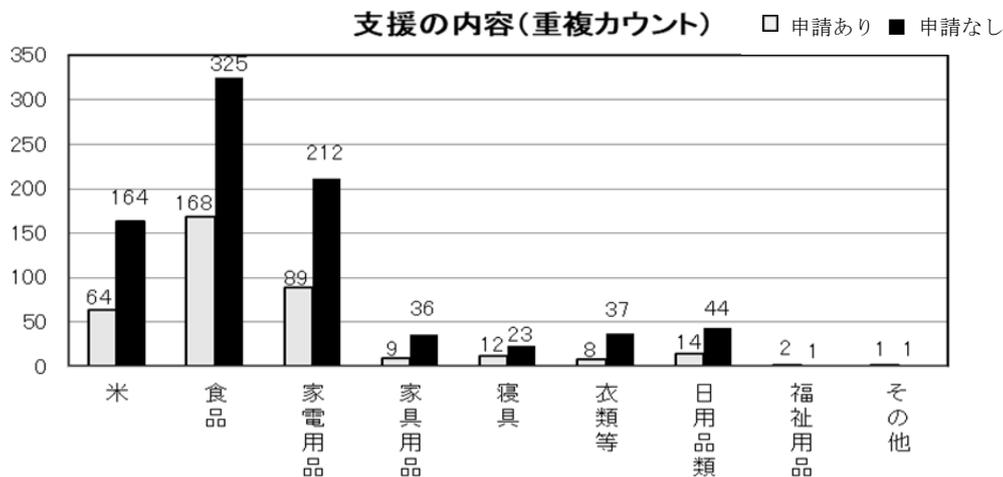
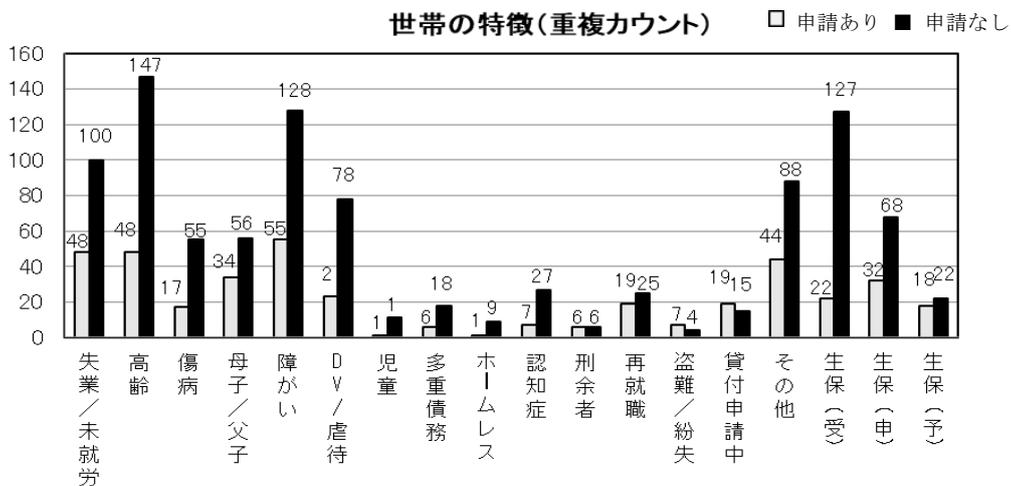
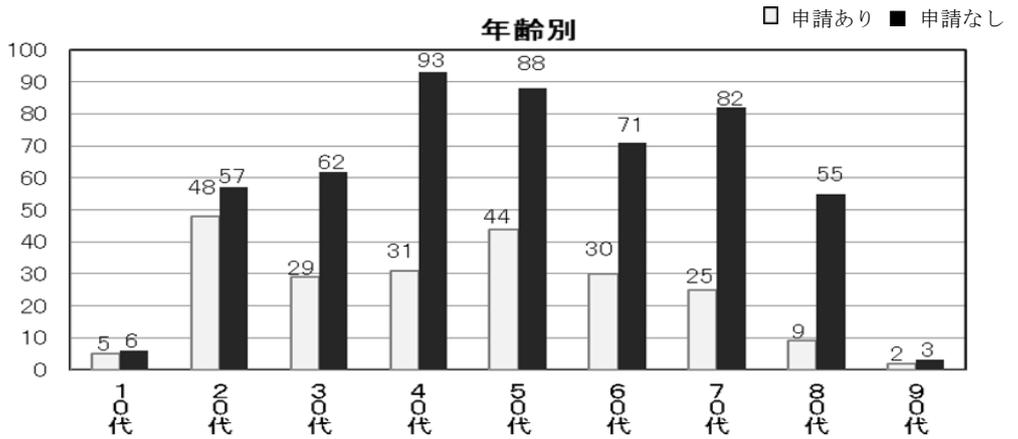
《新型コロナウイルス感染症の影響に伴う総合生活相談事業の推進》

「多重債務」「母子」「外国籍」等の相談が増加傾向にあり、その背景にはコロナによる離職や休職を起因とするものも多かった。特例貸付や自立支援金、住居確保給付金などの新型コロナウイルス対策関連制度の利用や、地域のフードバンクやフードパントリーとの連携などにより、経済的援助に限らない支援も多くみられたほか、それらの利用による解決が難しい相談が本事業につながった。また、経済的援助件数の約2割はコロナ関連の相談であり、「失業・未就労」世帯の相談も引き続き多い。経済的援助の主な対象者は、これまで40代～50代の稼働年齢層が突出していたことと比較すると、令和3年度は20代～80代と幅広い年代からの相談があり、コロナの影響がより多くの世帯に及んでいることが考えられる。

④寄贈物品・寄贈食材等による支援を行った相談支援事例の特徴と傾向

社会貢献基金を活用した「経済的援助（現物給付）」による支援だけでなく、地域住民や企業、関係団体等から寄付・提供いただいたリユース可能な家電や家具、日用品、食品（米、レトルト食品や缶詰、麺類など）も緊急的な支援が必要な際に活用している。

令和3年度は、寄贈物品・寄贈食材等による支援を、740世帯（1,195人）に行った。支援を行った世帯のうち、経済的援助（現物給付）による支援もあわせて行ったものは30%（223世帯 357人）、経済的援助（現物給付）による支援を行わず、寄贈物品・寄贈食材等による支援のみを行ったものは70%（517世帯 838人）であった。物品支援の内容を金額換算すると、約390万円になる。



(2) 社会福祉法人の強みを活かしたさまざまな地域貢献事業の推進

社会福祉法人（施設）で取り組まれている、それぞれの特徴や強みを活かしたさまざまな地域貢献事業を推進するとともに、本会機関誌や市民向けセミナー（マッセ・市民セミナー）を開催し、“見える化”をはかって、広く情報を発信している。

① ふくしおおさか連載記事「頑張っています！社会福祉法人の地域貢献」

No.	号	内容
1	春号	地域のつながりを通じた独居高齢者への支援 福)山水学園 サンローズオオサカ (大阪市/老人施設部会)
2	夏号	市域および府域のネットワークを活かした緊急支援 福)豊中太陽会 サン・スマイル (豊中市/セルフ部会)
3	特別号	施設がつなぐお弁当物語～施設・社協・寿司屋の協働 福)光摂会 バクの家 (摂津市/セルフ部会)
4	秋号	母子世帯の安定をめざした生活と養育の支援 福)愛育社 児童養護施設 愛育社 (堺市/児童施設部会)
5	新春号	スマイルサポーターの相談支援と地域貢献の実践 福)幸楽会 すえひろこども園 (泉佐野市/保育部会)

② マッセ・市民セミナー「地域で実践する社会福祉法人の公益的な取り組み」

No.	日付	会場	人数	内容
1	03.12.21	あべの ハルカ ス	94	<p><講演> 「包括的支援体制の構築をめざした協働の推進」 大阪教育大学教育協働学科 特任教授 新崎 国広 氏</p> <p><報告> 「八尾モデルとこれからの社会福祉施設連絡会の展開」 八尾市社会福祉協議会 社会福祉施設連絡会 福)八尾隣保館 サポートやお 久保田 佳宏 氏 福)幸寿会 特別養護老人ホーム幸寿 中浦 治子 氏 福)八尾市社会福祉協議会 田中 樹子 氏</p>

③ コロナ禍での生活困窮者支援 実践セミナー（経営者部会）

No.	日付	会場	人数	内容
1	03.10.28	シティ プラザ (オン ライン 併用)	110	<p><基調講演>「コロナ禍での生活困窮者支援のあり方」 全国社会福祉協議会 副会長 古都 賢一 氏</p> <p><論点提供>「今求められる地域での公益的な取組とは」 テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策 氏</p> <p><実践報告>「コロナ禍での生活困窮者支援の実践報告」 福)みささぎ会 理事長 奥田 昶視 氏 (老人施設部会) 福)淳心会 平和の園 園長 篠崎直人 氏 (保育部会) 福)南河学園 理事長 伊山喜二 氏 (児童施設部会) (柏原市民間社会福祉施設連絡会 会長) 福)柏原市社会福祉協議会 事務局次長 渡邊 豊 氏</p>

(3) 「社会貢献基金（特別部会費）」の拠出

「大阪しあわせネットワーク」を推進するため、本会施設種別部会の会員施設（社会福祉法人が運営する施設のみ）が拠出する「社会貢献基金（特別部会費）」については、1,108施設73.9%（社会福祉法人が運営する会員施設1,500施設中）から138,983,500円の拠出があった。

<社会貢献基金の拠出状況（参考）>

【2年度】	1,488施設中、1,119施設（75.2%）	138,471,500円
【元年度】	1,472施設中、1,099施設（74.7%）	137,765,000円

3. 委員会

(1) 社会貢献基金運営委員会

事業全般に関する審議、「社会貢献基金」の適正な管理のため、学識経験者、民間団体、各施設種別部会から選出された委員により構成する委員会で審議を行った。

①委員会 2回

No.	日付	会場	人数	内容
1	03.7.14	大阪社会福祉指導センター	17	1. 委員長・副委員長の選出 2. 令和3年度事業進捗について 3. 令和2年度決算・令和3年度予算について 4. 市区町村域しあわせネットワーク体制構築モデル事業について
2	04.2.9	大阪府社会福祉会館（オンライン併用）	16	1. 令和3年度事業進捗状況・補正予算について 2. 市区町村域しあわせネットワーク体制構築モデル事業について 3. 令和4年度事業計画・予算について 4. 社会福祉法人による法人後見の推進（報告）

②中間報告 1回

No.	日付	会場	人数	内容
1	03.12.9	中間報告（書面）	—	1. 令和3年度事業進捗状況・補正予算について 2. 市区町村域しあわせネットワーク体制構築モデル事業の進捗について 3. 法人後見専門職員養成研修実施報告

※経営者部会社会貢献事業推進委員会については、より機能的な推進体制をめざして、令和3年度より、大阪府社会福祉協議会社会貢献基金運営委員会に一本化となった。

4. 社会貢献支援員の配置

(1) 社会貢献支援員の配置状況（令和4年3月末日時点）

No	担当地域	氏名	駐在先（法人名/施設・事業所）
1	豊中市・池田市・箕面市	山内 充郎	(福) 大阪府社会福祉事業団 特別養護老人ホーム豊寿荘
2	吹田市・能勢町・豊能町・茨木市	國森 絵美	吹田市社会福祉協議会施設連絡会 (事務局:吹田市社会福祉協議会)

No	担当地域	氏名	駐在先（法人名/施設・事業所）
3	高槻市・島本町・摂津市 （北ブロック担当）	上杉 憲司	（福）みどりヶ丘会 グリーン特別養護老人ホーム
4	寝屋川市・門真市・枚方市・ 交野市	堀井 義元	（福）聖徳園 特別養護老人ホームひらかた聖徳園
5	四條畷市・大東市・守口市	松本 保彦	（福）大阪府社会福祉事業団 特別養護老人ホーム四條畷荘
6	東大阪市（西エリア）	湯村 丈司	（福）由寿会 特別養護老人ホームアーバンケア稲田
7	東大阪市（中・東エリア）	北村 優子	（福）川福会 特別養護老人ホームみのわの里
8	八尾市・柏原市・藤井寺市・ 羽曳野市	下永田 智子	柏原市民間社会福祉施設連絡会 （事務局：柏原市社会福祉協議会）
9	河内長野市・大阪狭山市・富 田林市・太子町・河南町・千 早赤阪村	大倉 修一	河内長野市社会福祉施設連絡会 （事務局：河内長野市社会福祉協議会）
10	松原市 （河内ブロック担当）	辰巳 正秀	（福）聖徳会 まつばらケアプランセンター
11	大阪市（淀川区・西淀川区・北 区・福島区・此花区・西区）	井田 堤子	（福）亀望会 特別養護老人ホーム江之子島コスモス苑
12	大阪市（天王寺区・東成区・ 生野区・西成区）	川崎 博之	（福）久栄会 特別養護老人ホームインパレスみのり苑
13	大阪市（鶴見区・城東区・都 島区・旭区・東淀川区）	隅田 昌宏	（福）治栄会 軽費老人ホーム ラフォーレからまつ
14	大阪市（港区・大正区・浪速 区・中央区）	築田 祐希	（福）みなと寮 救護施設 こうせいみなと
15	大阪市（平野区・住吉区・住 之江区・東住吉区・阿倍野 区）（大阪市ブロック担当）	上村 英	（福）央福社会 特別養護老人ホームウェルネスあびこ （福）みおつくし福社会 母子生活支援施設 南さくら園
16	堺市（北区・堺区・西区）	佃 今日子	（福）関西福社会 特別養護老人ホーム陵東館
17	堺市（中区・東区・南区・美 原区）	三井 環	（福）白水福社会 子育てひろば みはら
18	泉州（泉大津市・高石市・和 泉市）（南ブロック担当）	末包 ミカ	（福）豊中福社会 特別養護老人ホームローズガーデン南苑
19	泉州（岸和田市・貝塚市・熊 取町・忠岡町）	栗坂 英子	（福）嘉舟会 特別養護老人ホームいなば荘
20	泉州（泉佐野市・泉南市・阪 南市・田尻町・岬町）	岸上 由美子	（福）幸楽会 すえひろこども園
21	府内全域（後方支援業務）	久住 晃生	本部（大阪府社協社会貢献推進室）

(2) 社会貢献支援員全体会議

No.	日付	会場	内容
1	03. 4. 1	大阪社会福祉 指導センター	令和3年度事業計画について エリア会議・情報共有
2	03. 6. 3 6. 4	大阪社会福祉 指導センター	エリア会議・情報共有
3	03. 7. 1 7. 2	大阪社会福祉 指導センター	エリア会議・情報共有
4	03. 8. 5 8. 6	大阪社会福祉 指導センター	エリア会議・情報共有
5	03. 9. 2 9. 3	大阪府社会福 祉会館 他	エリア会議・情報共有
6	03. 10. 1	大阪社会福祉 指導センター	エリア会議・情報共有
7	03. 11. 5	大阪社会福祉 指導センター	エリア会議・情報共有
8	03. 12. 2	大阪社会福祉 指導センター	エリア会議・情報共有 ※生活困窮者支援グループと合同 研修（「生活困窮世帯の調査・分析報告会」 講師：神戸学院大学 西垣教授・田宮教授）
9	04. 1. 7	大阪府社会福 祉会館	エリア会議・情報共有
10	04. 2. 4	大阪社会福祉 指導センター	エリア会議・情報共有 研修（交通安全講習会）※生活困窮者支援グループと合同
11	04. 3. 4	大阪府社会福 祉会館	エリア会議・情報共有 研修（野宿者支援報告）※生活困窮者支援グループと合同

(3) 社会貢献支援員に対する教育・研修

①本会主催研修や行政・関係機関等が開催する研修会等への参加

社会貢献支援員のスキルアップをはかるため、本会主催研修や行政・関係機関等が開催する研修会・セミナー等に参加し、教育・研修の機会とした。

②新任社会貢献支援員フォローアップ研修会

No.	日付	会場	内容
1	03. 4. 16	大阪社会福祉 指導センター	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換
2	03. 6. 15	大阪社会福祉 指導センター	法人後見に関する厚労省講演動画の視聴 権利擁護推進室との意見交換
3	03. 8. 17	大阪社会福祉 指導センター	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換
4	03. 12. 14	大阪社会福祉 指導センター	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換
5	04. 2. 14	大阪府社会福 祉会館	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換

5. 研修会・セミナーについて

(1) コミュニティソーシャルワーカー養成研修会（前期）

No.	日付	会場	人数	内容
1	03.07.07	オンライン開催	71	<p>① 今なぜ社会福祉法人に 地域貢献が求められているのか 社会福祉法人 八尾隣保館 理事長 荒井 恵一 (大阪府社会福祉協議会 社会貢献基金運営委員会委員)</p> <p>② 大阪府社協・各施設種別部会がすすめる 「大阪しあわせネットワーク」について 大阪府社協 社会貢献推進室</p> <p>③ 総合生活相談（生活困窮者レスキュー事業）の すすめ方と支援システムについて 大阪府社協 社会貢献推進室</p> <p>④ 社会福祉協議会の活動と 社協×施設の地域貢献について 大阪府社協 地域福祉部</p> <p>⑤ 生活困窮者自立支援制度と生活福祉資金について 大阪府社協 生活支援部</p>
2	03.07.12	オンライン開催	70	<p>① コミュニティソーシャルワークについて (講義と事例報告) 日本福祉大学 社会福祉学部 教授 川島 ゆり子 氏 羽曳野市社会福祉協議会 ベビーハウス社協 スマイルサポーター 岸和田 かおり 氏</p>
3	03.07.20	オンライン開催	70	<p>① 【実践報告】 母子生活支援施設の現状と地域貢献について 《母子施設部会》 社会福祉法人みおつくし福社会 リアン東さくら</p> <p>② 社会保障制度・生活保護～医療サービス～ 医療ソーシャルワーカー 奥村 晴彦 氏</p> <p>③ 相談支援において忘れてはいけない 尊厳と倫理、人権の視点 一般社団法人メンタルさぼーたーず Labo 代表理事 澤井 登志 氏</p>

(2) コミュニティソーシャルワーカー養成研修会（後期）

No.	日付	会場	人数	内容
1	03. 11. 19	大阪社会福祉指導センター	32	<p>① 今なぜ社会福祉法人に 地域貢献が求められているのか 社会福祉法人 八尾隣保館 理事長 荒井 恵一 (大阪府社会福祉協議会 社会貢献基金運営委員会委員)</p> <p>② 大阪府社協・各施設種別部会がすすめる 「大阪しあわせネットワーク」について 大阪府社協 社会貢献推進室</p> <p>③ 総合生活相談（生活困窮者レスキュー事業）の すすめ方と支援システムについて 大阪府社協 社会貢献推進室</p> <p>④ 社会福祉協議会の活動と 社協×施設の地域貢献について 大阪府社協 地域福祉部</p> <p>⑤ 生活困窮者自立支援制度と生活福祉資金について 大阪府社協 生活支援部</p>
2	03. 12. 8	ツイン21MIDタワー 20F	31	<p>① 【実践報告】 救護施設および障害者支援施設の現状と 地域貢献について 《成人施設部会》社会福祉法人天心会 フローラ 社会福祉法人北摂福社会 ともがき</p> <p>② 社会保障制度・生活保護～医療サービス～ 医療ソーシャルワーカー 奥村 晴彦 氏</p> <p>③ 相談支援において忘れてはいけない 尊厳と倫理、人権の視点 一般社団法人メンタルさぼーたーず Labo 代表理事 澤井 登志 氏</p>
3	03. 12. 13	大阪社会福祉指導センター	31	<p>① コミュニティソーシャルワークについて (講義と事例報告) 日本福祉大学 社会福祉学部 教授 川島 ゆり子 氏 社会福祉法人もくせい会 ケアハウスきんもくせい CSWマイスター 石井 智行 氏</p>

【参考】 コミュニティソーシャルワーカー養成研修会修了者数（平成 16～令和 3 年度）

合計 2,417 人

(2) CSWマイスター研修会 ※大阪府知事認定研修会

日付	会場	人数	内容
03.10.9	プリムローズ大阪	22	①大阪府の施策・制度説明 (地域共生社会や重層的支援体制整備事業など) 大阪府 地域福祉課 ②大阪府の施策・制度説明 (女性相談やDV相談についてなど) 大阪府 女性相談センター ③ソーシャルワークの理論と実践 医療ソーシャルワーカー 奥村 晴彦 氏
03.10.26	シティプラザ大阪	22	①地域共生社会におけるコミュニティ ソーシャルワーカーの役割について (講義・事例報告・演習) 公益財団法人 テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策 氏 《事例提供者》 社会福祉法人 山水学園 特別養護老人ホームサンローズオオサカ CSWマイスター 横田 隆作 氏

【参考】CSWマイスター研修会 修了者数(平成25～令和3年度) 合計 246人

(3) CSWマイスター現任研修会

日付	会場	人数	内容
03.10.27	シティプラザ大阪	30	ソーシャルサポートネットワークと プログラム開発について (講義・事例報告・演習) 公益財団法人 テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策 氏 《事例提供者》 社会福祉法人つくし会 特別養護老人ホーム 萱振苑 CSWマイスター 高松 達朗 氏
03.11.25	あべのハルカス	30	CSWマイスターの現状や今後の役割について (講義・意見交換) 福井県立大学 看護福祉学部 教授 奥西 栄介 氏

(4) CSW・スマイルサポーター事例報告会（相談援助技術研修会）

日付	会場	人数	内容
03.8.6	ツイン 21 MID タワー	34	「コロナの影響で収入がなくなった病気を抱える 親子世帯への支援」 梅花女子大学 こども学科 教授 井元 真澄 氏 《報告者》 社会福祉法人 大阪府社会福祉事業団 四條畷荘（老人施設部会） CSW 岩見 裕志 氏
03.10.22	オンライン 開催	55	「社会福祉法人の強みを活かした社会貢献事業 ～ワンコイン型介護予防教室で総合相談の拠点・ 住民の居場所づくりの挑戦！！～」 大阪城南女子短期大学 人間福祉学科 学科長 前田 崇博 氏 《報告者》 社会福祉法人 聖徳会 大阪老人ホーム(老人施設部会) CSW 杉原 圭祐 氏
04.1.24	オンライン 開催	51	「総合生活相談と民生委員見守り活動との連携事例」 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 教授 西垣 千春 氏 《報告者》 社会福祉法人 覚寿園 特別養護老人ホーム 覚寿園(老人施設部会) CSW 山本あけみ 氏
04.2.10	オンライン 開催	53	「コロナ禍で家族支援が受けられなくなった 母子世帯への支援」(施設間連携) 日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 川島 ゆり子 氏 《報告者》 社会福祉法人 緑地福祉会 プレーゴ緑地公園（老人施設部会） CSW 森 博之 氏 社会福祉法人 藍野福祉会 千里ニュータウンこども園（保育部会） 園長 重見 将治 氏

(5) マッセ・市民セミナー ※再掲5頁参照

6. 大阪しあわせネットワークの推進にかかる各種取り組み

(1) 「大阪しあわせネットワーク支援システム」の運用

事業に参画する社会福祉法人（福祉施設）間における情報共有や、相談支援実績や様々な地域貢献実践を集約する「大阪しあわせネットワーク支援システム」<https://osaka-soudan.jp/ssss/user/login/>を運用している。



(2) 「大阪しあわせネットワークポータルサイト」の公開

「大阪しあわせネットワーク」による社会福祉法人の地域貢献実践を“見える化”するため、インターネットを通じた情報発信を行う「大阪しあわせネットワークポータルサイト」(<https://www.osaka-shiwase.jp>)を公開している。



①地域貢献事業の登録施設 623 法人 (1070 施設)

②CSW・スマイルサポーター登録施設 439 法人 (666 施設) ※令和4年4月現在

(3) ICT化の推進／相談支援アプリの開発・検討

①相談支援・記録の標準化、②業務の省力化、③データの蓄積と分析のしやすさなど、より良い事業の推進と事業全体の活性化をめざし、現在の「支援システム」と連動した、タブレットやスマートフォンなどのツールによる相談内容記録のためのアプリケーションの開発・システム構築をすすめた。



※R4.5月～
本格運用

(4) ブロック担当（社会貢献支援員）による地域支援

令和3年度はブロック担当4名を配置し地域支援を行った。主に地域貢献委員会（施設連絡会）との連携支援や、関係機関とのネットワークづくり、事業の啓発・広報など、年間支援件数は183件となった。

7. 各施設種別部会との連携について

各施設種別部会における社会貢献・地域貢献の推進にかかる取り組みと連携し、大阪しあわせネットワークの推進をはかるため、部会、役員会における各種報告、研修会、各種事業における連携・協働を行った。

◎保育部会 保育おおさか取材協力

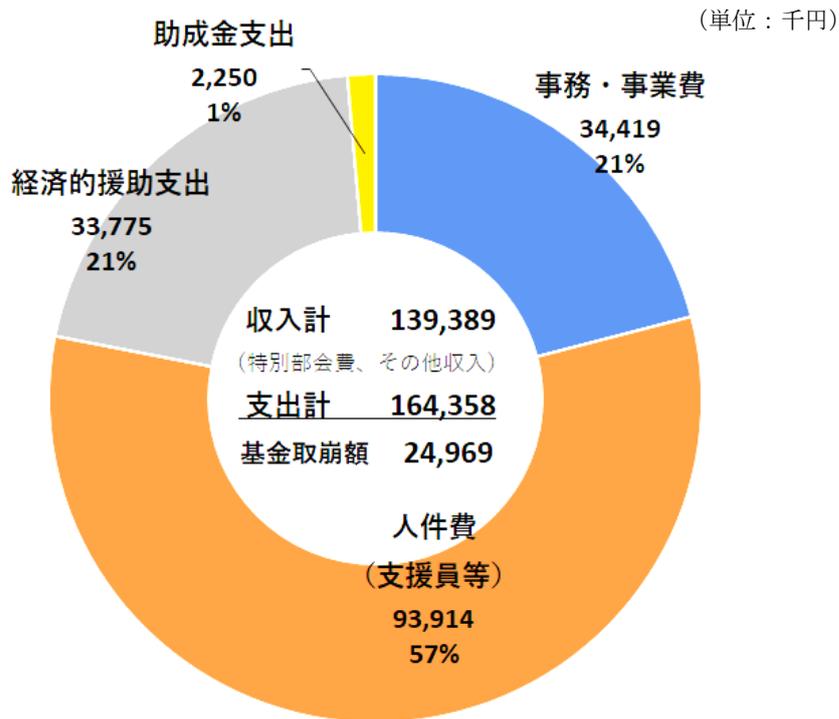
<各施設種別部会における社会貢献・地域貢献に関する主な取り組み>

◎経営者部会 ・「コロナ禍での生活困窮者支援 実践セミナー」参加者110名
※再掲

・居住支援法人との情報交換会

11. 令和3年度決算概要 ※令和4年5月2日時点の見込みに基づくもの

令和3年度における大阪しあわせネットワークにかかる財務については、大阪府社会福祉協議会にて処理を行い、令和4年6月開催予定の大阪府社会福祉協議会定時評議員会において議決を行う予定であるが、令和4年5月2日時点における決算見込みに基づく、決算概要については下記のとおりである。



※令和3年度当初の社会貢献基金額は331,860千円であり、上記の基金取崩額24,969千円を引いた306,891千円が令和3年度末時点における社会貢献基金額となる。

※経済的援助支出については、総支援件数527件41,516千円から、施設からの残額返金240件7,157千円、対象者からの返還金33件584千円を差し引いた33,775千円となる。

～ 本件に関するお問い合わせ ～
 社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
 施設福祉部 社会貢献推進室
 電話 (06) 6762-9488 FAX (06) 6762-9472